

二 集會目的

伊丹製鐵所外職並組合宣傳

三 聴衆

約五百名 (入場料十米ヲ望ム)

伊丹生ノ民並並演説要旨

日本労働同盟九州聯合會

江田 貢 飯島 登雄

大山 峻 山内 左太郎

(連根跡貞儀) 梶見 常

窪田 文六

伊丹支部長 水畑 利雄

演説要旨

伊丹製鐵所工場外ニ於テ行ハレタリシ事件ニ付テ解雇スル

ハ不法ナリ(社合工場内職工三十余名ヲ以テ組織スル親睦會負向ニ軌轍ヲ生シ數名脱会シタリモノアリ茲ニ於テ残存者ハ脱会者ハ會ノ秘密ヲ会社ニ漏洩スルノ虞レアリトシテ欧打傷害害シタリ事件アリ故ニ会社ハ加害者久田中嘉太郎 沢弥一郎ヲ二月二十六日解雇シ加勢シタリ者田辰三郎外九名ヲ一月二十七日ヨリ向フ十日向出勤停止シタリ)トテ会社ノ横暴ヲ攻撃シ登々ハ团结ノ威カヲ以テ之ニ對抗シ労働条件ノ維持改善ヲ圖ラサルヘカラス

ト团结ノ必要ヲ説キ更ニ

本期議會ニ於テ脱会ノ醜態ト別子労働争議ニ於ケル労働者ノ秩序整然トシ行勤トテ比較論評シ腐敗怠沓ニ成政党ヲ痛罵シ世産政變ノ必要ヲ力説シタリ

五 労働ノ模範